

2022年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】		所管課	産業連携開発課
施設名	須坂市技術情報センター		
所在地	須坂市大字井上1835番地1		
施設設置目的	IT機器を利用した産業支援、テレワーカー等情報技術を活用できる人材の育成、産業人材の育成及び各種行政情報を発信する市民 サービス等の提供を図る。		
施設概要・設備	建物の構造 鉄骨造2階建 延床面積 668.47 m ² 敷地面積 1,000 m ² 耐用年数 38年 施設の内容 1階 多目的セミナールーム・パソコンルーム・事務室 2階 テレワーカー室1・テレワーカー室2・共用機器室		
建設年月	2000年4月	指定管理 開始年月	2010年4月

【指定管理概要】

指定管理者名	(特非)信州SOHO支援協議会
指定期間	2023年4月1日～2026年3月31日
業務内容	利用の許可、許可の取消し並びに利用の制限及び停止に関する業務 施設及び備品等の維持管理に関する業務 利用料の徴収、減免及び還付に関する業務 自主事業に関すること 施設利用者へのアンケート調査
職員体制	常勤:2名 非常勤:3名 相談員:1名 合計:6名
(専門職、役職等内訳)	所長、相談員

1 施設利用状況

項目	単位	目標値	実績			対前年比	対目標値
			2020年度	2021年度	2022年度		
利用件数	件	1,500	1,463	1,179	937	79.5%	62.5%
利用者数	人	9,000	6,450	6,587	5,611	86.2%	62.3%
特記事項							

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者			市				
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額		
収入	指定管理料	12,500	12,500	収入	使用料・手数料	0	0
	使用料・手数料	1,200	906				
	その他		93		その他		
	収入計	13,700	13,499		収入計	0	0
支出	人件費	8,936	7,299	支出	指定管理料	12,500	12,500
	需用費	4,294	5,564		修繕費	265	0
	役務費	510	506		備品購入費		
	その他	113	88		その他	0	0
	支出計	13,853	13,457		支出計	12,765	12,500
管理事業損益 (a)	-153	42	管理事業損益	-12,765	-12,500		

損益 (a) + (b) 管理事業損益 + 自主事業損益	42
---------------------------------	----

特記事項	利用者減で収入は減ったが、人件費の工夫による減で結果として若干の黒字を確保した。
------	--

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各種IT講習会 ・レーザー加工機を使ったものづくり ・情報センター科学クラブ ・デジタルの日イベント ・子供プログラミング教室 ・ミニドローン体験 ・オープンデータ日関連イベント
--------	--

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考	
各種IT講習会	191	191		
子供プログラミング教室	284	284		
レーザー加工機を使ったものづくり	580	580		
ミニドローン体験	163	163		
情報センター科学クラブ	419	419		
デジタルの日イベント	76	76		
合計	1713	1713	自主事業損益(b)	0

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	<p>実施時期: 随時 調査対象: 利用者・自主事業の受講者 調査方法: アンケート(紙とオンライン併用)</p>
②利用者からの声	(2) 調査等の結果
	<p>アンケート回収: 128件</p>
③対応措置	(1)良好とする評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングははじめてだったので感動的でした。 ・親切に教えて頂きありがとうございました。 ・今後も色々アドバイスを頂ければと思います。 ・(ワークショップ参加者より)また別のものに参加したいです
③対応措置	(2) 苦情・改善の要望
	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事でワードエクセル太郎を使っているがaccessについても知りたい ・ゲームプログラミング教室を希望
③対応措置	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の希望については検討し自主事業に反映していければと思います。

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	△	1
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	○	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	◎	3
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	○	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	3
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	◎	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	○	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	○	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	◎	3
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	3
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	◎	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点 17 点

総合評価 A

評点

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
- B (適正) 合計14点
- B' (若干の改善が必要) 合計11点~13点
- C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
- … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
- △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
- × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1) 今年度の取り組みに対する評価

昨年同様、コロナ禍での運営に悩まされました。密を避けるために大人数での利用を制限するなどした結果、お客様のニーズにお応えできない場面もありました。しかし自主事業の科学クラブなどは2部屋使って部屋同士をオンラインで繋いで活動するなど工夫して対応してきました。実際、貸館利用のお客様でも複数の部屋をオンラインで繋いで使用するといった方もいらっしゃる、情報センターならではの使い方だと感じました。

(2) 課題

コロナ前に頻りに会議や集会で利用されていた方々の利用がコロナ禍で無くなって以降戻ってこない。きっとほかの施設などを利用していると考えられるので、その分の新たな利用者をどのようにして増やすか。

また産業人材育成の拠点としての情報センターをどのようにアピールして利用に繋げていくかを考えたい。

(3) 次年度以降の取り組み

・情報センターのPRを紙媒体(チラシや市報など)やSNSなど使って広報し、情報センターという施設や利用内容を知ってもらう。

・産業人材育成の場としての価値を高めていく。テレワークオフィスのような使い方やオンライン会議のスタジオなどといった新たな使い方を提案していきたい。

・ものづくりワークショップや子供プログラミング教室、科学クラブといった活動で出来た繋がりをもっと広げ、学校の教育活動のお手伝いが出来れば良いと考えます。

(4) その他

大きな商業施設が建設予定の今、レンタルオフィスのような使い方をしている企業などと繋がりたいと考えております。長期的に使ってもらうことで、情報センターとしても利用予定が立ち、借りる企業にとっても経費を抑えられるといったウィンウィンになるよう、まずは関係各所と情報共有などに努めたい。

7 市による総合評価

(1) 今年度の取り組みに対する総合評価

指定管理業務と自主事業の会計をしっかりと区別して適正に管理しており、業務内容についても常時点検が行われている。また、積極的に自主事業を行っているなかで地域との交流を図りながら人員の配置を工夫している。

コロナ禍で密を避ける取り組みとしてオンラインを活用するなど技術情報センターとしての役割を發揮できた一方で、コロナ前に会議や集会で利用していた団体がコロナ後に戻って来ないなど、利用者の減少傾向が続いており、新たな利用者をどう増やしていくかが課題である。

自主事業の取組であるものづくりワークショップや子供プログラミング教室、科学クラブなどは継続的に続けている成果が出ており、今後も学校教育活動のお手伝いができるものと期待される。

インター周辺に大規模商業施設が建設予定であり、今後どのように繋がっていくのか、また、そもそも技術情報センターがどういった機能があり須崎市にとって産業人材育成の拠点として機能していくのか考えていく必要がある。